

伊万里

第7号

R2.10.1

校訓 心ゆたかに 健やかに

校長 長谷川 晃三郎

運動会 有り難うございました !

コロナの影響で午前中開催、人数制限、テントなし等々、保護者の皆様方にはご迷惑をおかけしました。そういった状況の中、役員の皆様、保護者の皆様方のご支援、ご協力のお陰で無事運動会を終了することができました。本当に有り難うございました。

子どもたち一人ひとりの頑張りで、立派な運動会を作り上げてくれました。今年のスローガンは『心を燃やせ！全力、努力、協力』でした。徒競走では全力で走る姿を見ることができました。走ることが得意ではなくても、遅くても、途中で靴が脱げても、最後まであきらめずに自分の力を出し切ろうと努力する姿が見られました。応援や団体演技では心を合わせ、協力する姿がありました。

6年生にとっては最後の運動会でした。練習の時から6年生にしか分からないいろんな苦労があったと思います。「何としても自分たちの手で運動会を成功させる」という強い思いでその苦労を乗り越え、運動会を見事、成功に導いてくれました。



【赤分団の優勝という結果でしたが、どの分団も素晴らしい力を見せてくれました。】



【高学年は迫力満点の演技で、低・中学年は可愛くかっこいい踊りで見ている人を魅了しました。】

「7つの目標」 家庭や地域ではどうでしょうか

本校では今年度から学校目標である「一人ひとりが伸びる学校」「笑顔と活気にあふれる学校」を達成するために『7つの目標』の具現化を目指し取り組んでいます。

- | | | | |
|----------|-------|------|---------|
| ◇3つの響く | 返事 | あいさつ | 明るい声・歌声 |
| ◇4つのあふれる | 感謝の言葉 | 思いやり | 笑顔 活気 |



私が小さい頃は「人様に迷惑をかけるな」とよく叱られていました。しかし、今は人と人が関わる機会や集団での活動が段々と少なくなり、「人様」という言葉は殆ど聞かなくなりました。昨年ラジオのCMで2回目の東京オリンピックの成功を願って次のようなフレーズが時々流れていました。（1961年と2020年の人々の暮らしを比べて）

- | |
|---------------------------------|
| ☆物は少なかったけれど、笑顔に溢れていた。 |
| ☆世界とはつながっていなかったけれど、近所とはつながっていた。 |



物に溢れ、いろんな事が楽にできるような便利な時代になりました。情報機器の発達で簡単に世界中の人とネット上で会話をすることができるようになりました。それはとても良いことですが、反面直接顔を見て話しをすることや集団で力を合わせて行動することが少なくなったため、相手の気持ちを想像したり、思いやったりする力が乏しくなってきたと言われています。

この頃地域の方から「今年程子どもたちの返事が聞こえてくることはありませんでした。」「最近学校に行ったとき、たくさん子どもたちが挨拶をしてくれてとても気持ちよかったです。」と褒めていただきました。

学校では、よく挨拶や返事をします。昨年と比べるととても上手になったとの声も聞きます。素晴らしい子どもたちです。ただ、学校ですることはもちろん重要なのですが、それが目標ではありません。「学校以上に地域や家庭で元気に挨拶や返事ができる子ども」「感謝の気持ちを地域や保護者の方々に言動で示すことのできる子ども」に育てられることを目標にしています。

- | |
|---|
| ○家庭や地域で子どもたちは返事をしているでしょうか。 |
| ○子どもたちと学校以外の場所で会ったとき、子どもの方から挨拶をしているでしょうか。 |
| ○「ありがとう」の言葉をいろんな場面で使えているでしょうか。 |

地域の中で返事や挨拶を響かせることは簡単なことではありません。しかし、本校の子どもたちならきっとできると信じています。どうぞ今後とも、子ども達へのお声かけをよろしくお願いします。

育友会バザー「ゆめ広場」の中止について

本校のバザーは県内でも1, 2位を争う程高い実績を上げてきました。保護者、地域の方々のご協力のお陰です。そのバザーですが、育友会の役員の皆様を中心に何度も話し合いを行い、今年度は中止することになりました。残念な結果ですが、学習発表会（鼓笛やコーラス）については実施の方向で検討しているところです。今年度は伊万里供日で鼓笛の発表はできませんが、6年生はがんばって練習に取り組んできました。本校の伝統であるコーラス部も毎日がんばっています。何とか練習の成果を見ていただく機会をつくりたいと考えています。詳しいことは決定次第またお知らせします。

